

自動麻醉記録装置等 I/F 機能仕様書

R.10 2017年10月23日

公益社団法人 日本麻醉科学会

改訂履歴

版数	日付	改版内容
R.0	2005/10/3	初版
R.1	2005/10/26	「3. IFデータ項目」の輸血量_WBCをWBに修正
R.2	2005/11/25	暗号キーの記述取止め。 本書タイトルの変更。
R.3	2005/12/12	(1)自動麻酔記録装置等 I/F_XML定義書 (R.4)への改訂 ・NULL値で登録する場合と登録しない場合の表記方法の変更 ・偶発症の成因<origin>の修正 (2)自動麻酔記録装置等 I/F_XMLサンプル.xml (R.3)への改訂 偶発症の成因<origin>の修正
R.4	2006/8/15	(1)自動麻酔記録装置等 I/F_XML定義書 (R.7)への改訂 ・手術台帳/麻酔台帳の全項目対応に伴う項目の追加 (2)自動麻酔記録装置等 I/F_XMLサンプル.xml (R.5)への改訂 ・手術台帳/麻酔台帳の全項目対応に伴う項目の追加
R.5	2006/11/21	(1)自動麻酔記録装置等 I/F_XML定義書 (R.8)への改訂 ・「2.JSAテーブル」の「JSA0004 体位」の誤植を修正
R.6	2010/10/8	PIMS2010対応 1) 下記I/F項目の追加 (XMLタグjsaVersionが2.0にバージョンアップ) ・患者月齢 ・患者日齢 ・薬剤HOT7コード ・術前合併症(項目毎) ・施設独自登録項目 2) 手術部位の分類変更(2011年登録症例から)
R.7	2010/11/14	PIMS2010対応 1) 手術部位の「心臓・血管」の細分類の変更(2011年登録症例から) 変更点の詳細は、「2.自動麻酔記録装置等I/F_XML定義書(R10).xls」の「2.JSAテーブル一覧」シート「JSA0003 手術部位」を参照。
R.8	2011/10/10	(別資料)「2.自動麻酔記録装置等 I/F XML定義書(R12)」: 下記項目の仕様記述を詳細化 ・opeHospOriginalItem:施設独自項目
R.9	2016/2/1	(別資料)「2.自動麻酔記録装置等 I/F XML定義書(R13)」 1) 下記I/F項目の新設 (XMLタグjsaVersionが3.0にバージョンアップ) ・麻酔法2016年新分類: 1.2.11 <anesthesiaMethod2016>
R.10	2017/10/23	(別資料)「2.自動麻酔記録装置等 I/F XML定義書(R14)」 「2.JSAテーブル一覧」 JSA0019 薬剤への下記薬剤の追加 デスフルラン ロクロニウム スガマデクス

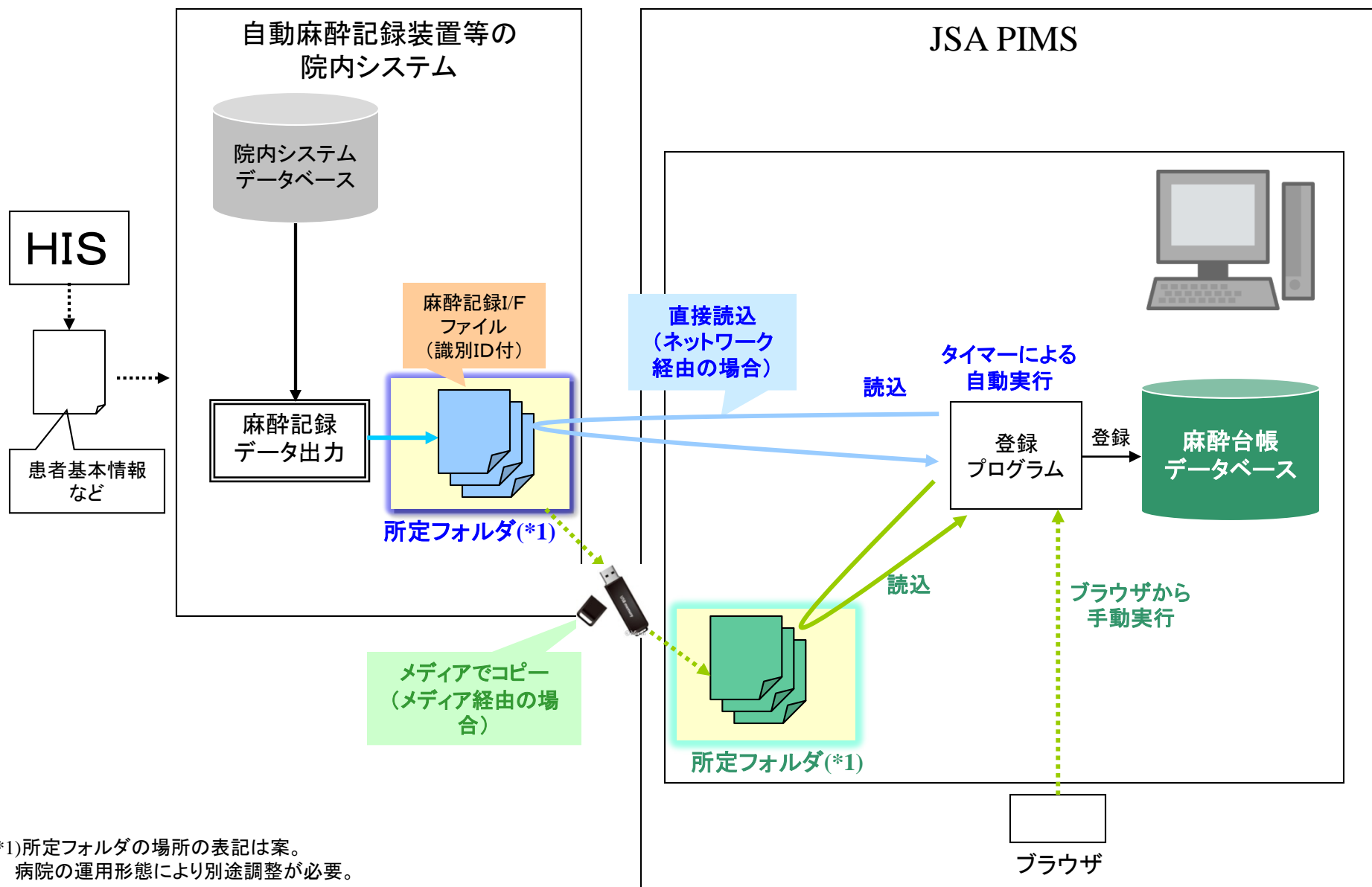
1. 自動麻酔記録装置等 I/F システム概念図
2. I/F仕様
3. I/Fデータ項目

(別資料)

「2.自動麻酔記録装置等 I/F XML定義書 (R.14)」

「3.自動麻酔記録装置等 I/F XMLサンプル.xml (R.14)」

1. 自動麻酔記録装置等 I/F システム概念図



2. I/F 仕様

	項目	内容	備考
1	I/F方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク経由によるファイル渡し 又は ・メディア（USBメモリなど）経由によるファイル渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル渡しのみによる疎結合でI/Fを実現。 （自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイルを作成したからといって、JSA PIMS側に何かを通知する必要はない） ・自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイルを作る所までを実施。 ・JSA PIMS側はファイルを読み込み、麻酔台帳データベースへ登録する。
2	ファイルフォーマット	XML形式	
3	文字コード	シフトJIS	
4	暗号化	<p>ファイルデータをキー交換（秘密鍵のみの方式）による暗号化／復号化を実施する</p> <p>暗号化方式及び暗号キーについては、ヘルプデスク（https://www.jsa-pims.org）までお問合せください。</p>	メディア持出しによる情報漏洩を防止する為。
5	ファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・1麻酔記録当り1ファイルとする。 ・ファイルには、麻酔記録を一意に識別するための「識別ID」を含める（識別IDは一意の整数とする） ・ファイル名は一意となるよう以下の形式とする。 ■ 識別ID_ファイル作成時刻(yymmddhhmiss).xml （ファイル名例）12345_0500928135430.xml 	<ul style="list-style-type: none"> ・「識別ID」は、麻酔台帳データベースに登録する。もし同じ識別IDのファイルが再び来た場合には、麻酔台帳へ上書き登録をする。
6	ファイル交換フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル交換用フォルダは設定ファイル等で指定可能とする。 （自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイル出力先フォルダに当たる） （麻酔台帳側はファイル読込先フォルダに当たる） ・フォルダの場所（マシン）は、病院の環境に応じ決定する。 	

3. IFデータ項目

(別資料)「2.自動麻酔記録装置等 I/F XML定義書 (R.14)」
をご参照ください。